



鹿児島県 ヘンタ製茶（有）

『霧島茶を海外へ』

【主な品目】

霧島茶、有機茶、抹茶等

【主な輸出先国・地域】

米国、台湾、フランス、カナダ、デンマーク、スイス、フィンランド、カナダ、スペイン、イギリス、オーストラリア

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成27年から霧島茶、有機茶、抹茶等の輸出に取り組んでいる。
- ◆ 有機茶を健康志向の強い層をターゲットに売り込み、販路拡大・輸出拡大に繋げる。
- ◆ 国内外の商談会や物産展を利用した効果的なPRにより、自社ブランド評価の向上を図っている。

【輸出実績】（平成27年度より輸出開始）

| | 輸出額(万円) | 輸出量(t) | 出荷時期 |
|-------|---------|--------|------|
| 令和6年度 | 15,600 | 27.7 | 通年 |
| 令和5年度 | 11,700 | 24.2 | |
| 令和4年度 | 10,800 | 23.1 | |

【効果があった取組】

海外向けに英語による説明を併記したパンフレットを作成

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 有機抹茶の引き合いが多く、1回当たりの取引希望数量が増えてきており、在庫の確保と保管が今後の課題である。
- 2 商談時に、取引先から価格を問われることが多く、商品価格の設定に苦慮している。

【生じた課題への対応】

- 1 取引希望数量を確保するため、自社工場で有機抹茶の生産割合を増加し、また、保管用冷蔵庫を増やし、ある程度の在庫を確保できるようになった。
- 2 価格設定は輸送コスト削減が課題であり、現在は国内の輸出港までの運賃を弊社で負担し、輸出国までの運送費負担は請け負っていない状況。

【対応の結果】

- 1 令和元年10月にASIAGAPを取得し、アメリカ・ヨーロッパからの引き合いが増えた。
- 2 近年、ヨーロッパでは、抹茶の需要が多く、認知度も高くなってきている。

【今後の課題・展望】

- 1 輸出拡大に向け、国内販売（煎茶等の生産販売）と輸出（抹茶、スティック茶等の生産販売）のバランスをみて、弊社の規模に合った取組を実施する。



海外へ輸出される霧島茶



有機抹茶



商品ディスプレイ

【活用した支援・施策】平成27年度 6次産業化実践者販路支援事業、ジエトロ日本茶輸出商談会in九州

【ウェブサイト】 <https://www.henta.co.jp/>

【連絡先】 担当者名：邊田孝一、TEL：0995-77-2777